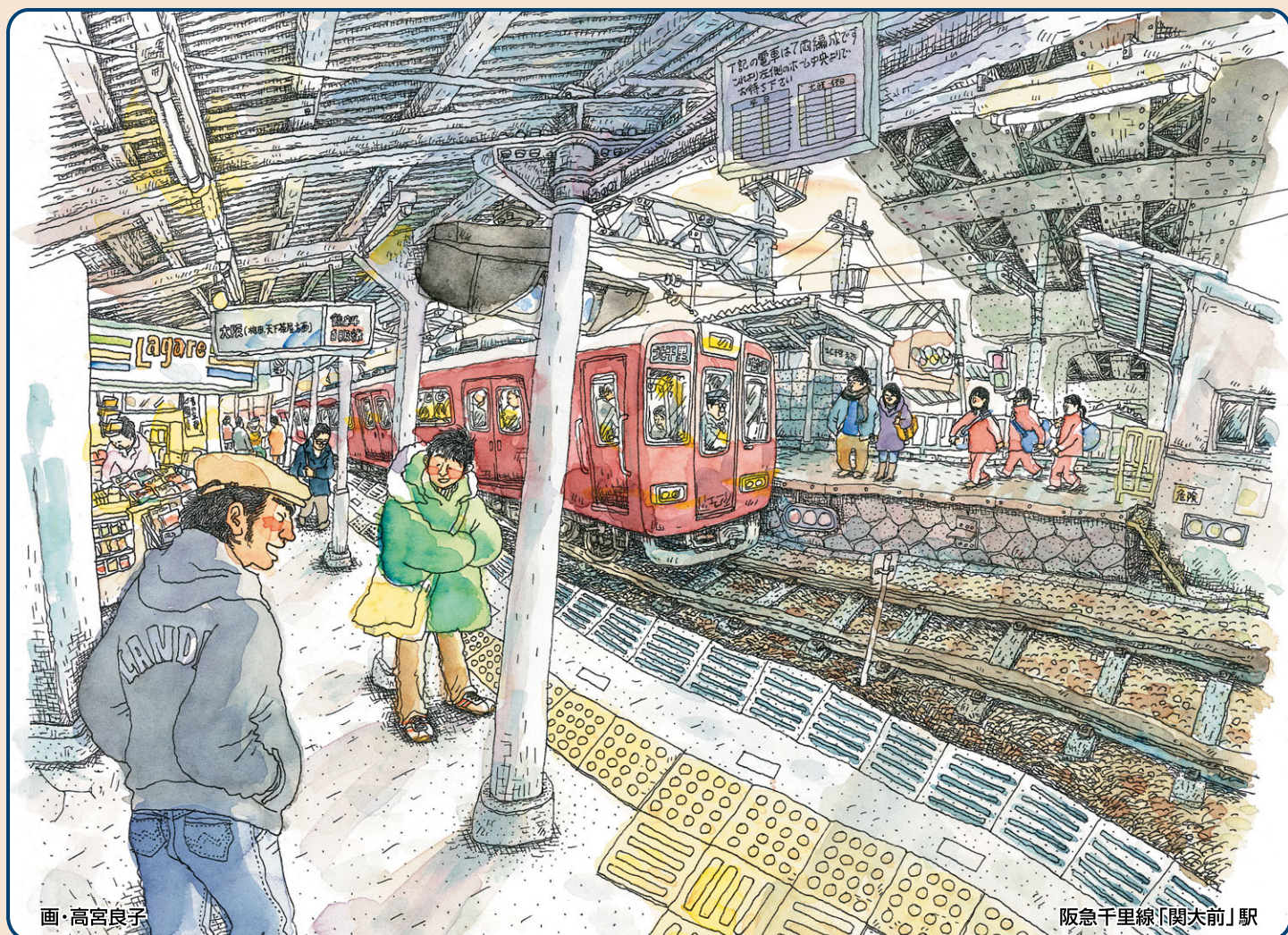


- 2… 吹田まちづくり問題座談会
- 7… 東御旅町産廃施設予定地の今は
- 8… 青年探偵団③「千里丘戦争」を探る
- 10… プッシュとフセインの関係
- 11… 勝手に吹田遺産②
- 12… 困難を乗り越えた若きアスリート⑤
- 13… いわみせいじのヨコシマ日記⑤
- 14… 戦争体験を聞く—— 榎原津一郎さん
- 15… 山田西・広い竹ヤブに大マンション  
新芦屋下・私道は穴ボコだらけ

# すいた Suita 市民 しんぶん

2007  
Vol.5  
February

2007. 2 この新聞は定期的に発行し、吹田市民のみなさまにお届けしています。



阪急千里線「関大前」駅

関西大学の敷地、昭和20年代までは「千里山遊園」でした。枚方パークの菊人形を上回る規模で、映画「君の名は」のロケでも使われたそうです。

## ●表紙のことは

阪急千里線で一番乗降客の多い駅はどこか？答えはこの「関大前」駅である。少子高齢化を迎える日本、阪急全線の中で、一番「若者率」が高いのは、おそらく千里線ではないか。

特に4月の入学シーズンには、「関大前」駅ホームは、あふれんばかりの学生たちでこた返す。この「関大前」駅、実はその駅名が何度も変わっていることも異色である。「大学前」駅としてスタートしたのが大正11年のこと。

「北大阪電鉄(千里線の前身)は千里山に電車の路線を敷くにあたり、線路沿いの桃山を買収して住宅開発をする予定であったが、一部景勝地は自然の風致を残し、少し手を加えて大阪の人が遊びに来られるような花壇を作る計画を立て、花壇、展望台、食堂、余興場などを設置し、「千里山花壇」と名付けた(阪急電車駅めぐりより)。

その後、「大学前」駅は、「花壇前」にチェンジ。その後、この花壇は拡張され、遊園地となる。「遊園地には桜が植えられ、モーターを使った高さ10メートルの滝、池にはボートが浮かべられた。アーチ式の音楽堂、飛行塔、大スベリ台、猿舎、孔雀舎、運動場など、当時としては豪華な遊園地だったのである(同、駅めぐり)。秋には枚方を上回る菊人形にぎわったという。

駅名は昭和13年に「千里山遊園」へ。しかし戦局が厳しくなり、「遊園」はふさわしくない、との軍の意向で、「千里山厚生園」に。戦後すくなく、元の「千里山遊園」に復活する。

時代とともに来園者が少なくなり、女子学院への売却話が持ち上がる。駅名は「女子学院前」となるが、この事態に慌てた関西大学が、交渉の末学校用地を取得する。

結局、「花壇前」と「大学前」という2駅が誕生するのだが、車両編成が長くなり、2駅を統合することになり、2駅の中間に現在の「関大前」駅が誕生したわけだ(昭和39年)。

千里山遊園の入場門は、承らく関大一高の正門として使われていたが、最近になって取り壊されてしまった。往時をしのぶ名所が一つまた一つと姿を消していくのは、寂しい限りである。